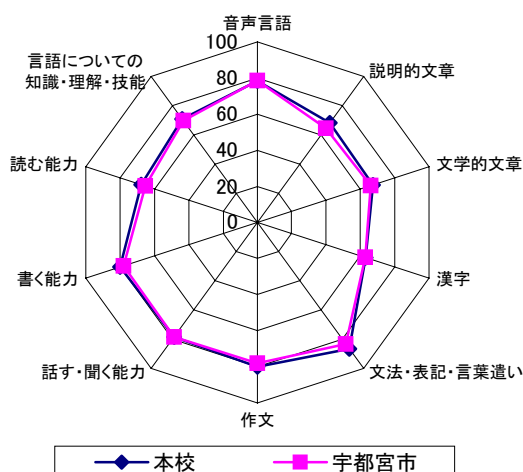


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	78.4	78.5
	説明的文章	68.2	64.5
	文学的文章	67.4	66.0
	漢字	63.0	62.8
	文法・表記・言葉遣い	86.5	83.4
	作文	80.1	78.0
観点別	話す・聞く能力	78.4	78.5
	書く能力	80.1	78.0
	読む能力	67.8	65.2
	言語についての知識・理解・技能	70.8	69.6



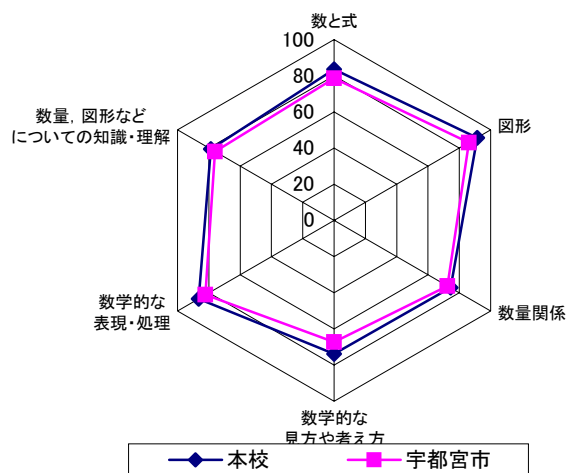
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (78.4%)	市の平均と比べると0.1ポイント低い結果となった。	ディベート、ポスターセッション、パネルディスカッション等の音声言語教材を学年を問わず積極的に授業に取り入れ、話すことと聞くことについて意識的に指導したい。
説明的文章 (68.2%)	市の平均と比べると3.7ポイント高い結果となった。	読解の過程で、筆者の論旨を段落関係や文と文の関係及び接続詞や指示語などを参考にして読み取らせる指導を徹底したい。また、論理的文章の読みを授業以外の自由読書に取り入れるようにしたい。
文学的文章 (67.4%)	市の平均と比べると1.4ポイント高い結果となった。	小説や物語において登場人物の心情や場面の情景をも物語の展開に即して読み取ることを重点に指導していきたい。詩などの韻文においては言葉のもつ象徴性や喩えを考慮に入れ、作者の意図の読み取りや情景を想像させることを重点に指導していきたい。
漢字 (63.0%)	市の平均と比べると0.2ポイント高い結果となった。	新出漢字の習得において、漢字の三要素を念頭において指導したい。また、二字の熟語のみならず三字や四字の熟語についても配慮して指導したい。
文法・表記・言葉遣い (86.5%)	市の平均と比べると3.1ポイント高い結果となった。	品詞の習得はもとより、敬語の知識の習得及び日常生活での使い方など役立つ文法の学習を徹底したい。
作文 (80.1%)	市の平均と比べると1.2ポイント高い結果となった。	作文の指導は表現教材ばかりでなく、理解教材のまとめの意味で文学的文章の感想文や説明的文章の要旨などを原稿用紙1枚程度の字数でまとめる学習をとおして力をつけさせたい。

宇都宮市立豊郷中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	83.6	78.6
	図形	91.4	86.1
	数量関係	74.3	72.4
観点別	数学的な見方や考え方	73.9	67.3
	数学的な表現・処理	86.5	82.2
	数量、図形などについての知識・理解	78.7	76.0



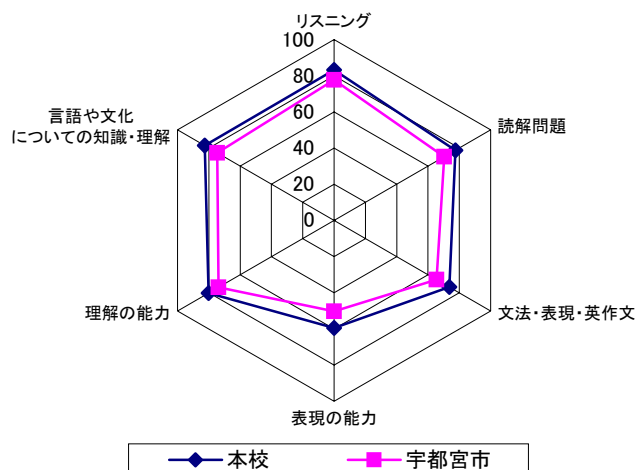
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (83.6%)	平均正答率は、宇都宮市と比較して5%高い。	4月から習熟度別学習で、特に基礎コースはT.Tによる徹底した反復練習を繰り返したため、因数分解や平方根の計算の正答率が高くなっている。今後も同様な形態で指導していきたい。
図形 (91.4%)	平均正答率は、宇都宮市と比較して5.3%高く、他の領域と比較してもかなり高い正答率である。	平行線と線分の比では、やはり反復練習を行い問題をこなした。相似な図形の証明では、穴埋めから全記述へと段階を追って練習した。今後も生徒の実態に合わせて指導していきたい。
数量関係 (74.3%)	平均正答率は、宇都宮市と比較して1.9%高いが、他の領域と比較すると低めである。	2乗に比例する関数では、変化の割合の正答率が低くなっている。基礎コースでは、言葉の意味や求め方などを丁寧な指導を心がけていきたい。

宇都宮市立豊郷中学校第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	83.1	77.7
	読解問題	77.5	70.3
	文法・表現・英作文	73.7	65.3
観点別	表現の能力	59.4	50.2
	理解の能力	80.2	73.8
	言語や文化についての知識・理解	82.6	74.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (83.1%)	平均正答率は、市の平均より5.4%高く、他の領域より高い。	昨年度よりクラスルームイングリッシュ(CE)を多用するように努めた。来年度もさらにリスニング能力の伸長を計れるよう、日ごろからCEを多用するとともに、ALTも十分活用する。また、ラジオやテレビ講座の視聴も積極的に薦めていく。
読解問題 (77.5%)	平均正答率は、市の平均より7.2%高い。	予習、復習などの家庭学習の習慣を継続して行わせる。 単語テストなどを通して、語彙力を高める。 読解力をつけるために、読み取り教材は、主語と述語の関係を意識させながら読み取るよう指導を行う。また、
文法・表現・英作文 (73.7%)	平均正答率は、市の平均より8.4%高い。	表現力は確かな文法力の上に成り立つものであるから、文法の指導は一年次より力を注いできた。声に出して言えないものは書けない。教科書基本本文の反復練習や音読など、耳からの学習を大切にする(それは結果的にリスニング能力の伸長にもつながる)とともに、ミニテスト等で書かせることで、文法の定着を図る。 単元末テストを行い、重要事項の定着確認をその都度行わせる。